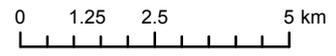
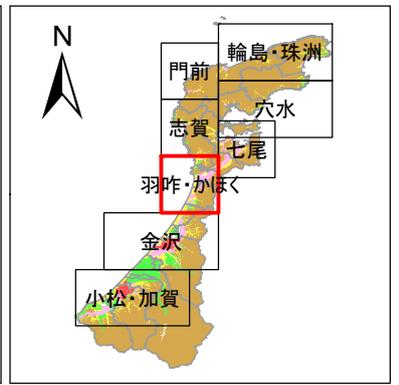
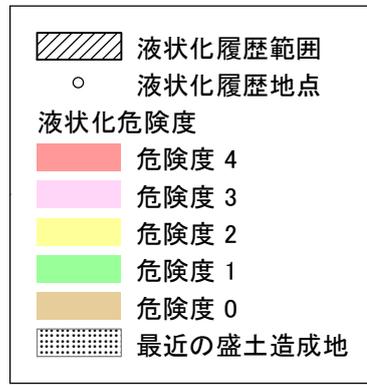


羽咋・かほく地域

液状化しやすさマップ



本地域は能登半島頸部に位置します。地形は主に北東～南西方向に伸びる邑知低地帯とその北西側及び南東側の山地・丘陵地及び海岸部の砂丘で構成されています。

邑知低地帯に位置する邑知潟と羽咋川周辺および宝達志水町には海岸平野が広がっており、軟弱な粘土層中には締め固まっていない砂層が介在するため、液状化の可能性がある範囲と想定されます。また海岸沿いの羽咋砂丘のうち砂丘縁辺部は地下水位が高く、締め固まっていない砂層で構成されるため、液状化の可能性がある範囲と想定されます。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)及び数値地図 25000(土地条件)を使用しています(承認番号 平25情使 第80号)。またこの図面は、5万分の1土地分類基本調査(地形分類図)石川県発行(1982～2006)の一部を利用して作成しています。

液状化履歴は、「若松加寿江(2011)日本の液状化履歴マップ 745-2008(東京大学出版会)」によります。本マップには過去の液状化履歴が○印でプロットされていますが、原典(若松、2011)では地震毎にシンボルが変えられており、また液状化が発生した地点の確実度によってもシンボルの大きさが変えられています。本マップではこれらを区別せずに同じ記号でプロットしています。

